

カンボジア通信

カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan) 会報

2018年12月

89号

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5

JICA地球ひろば気付

カンボジア教育支援基金事務局

info@keaf-japan.com

http://keaf-japan.com



《第20回総会報告》

支持基盤の拡充に取り組む

2020年度以降の活動に向けて

カンボジア教育支援基金 (KEAF) の第20回総会を11月25日(日)、新宿・市谷のJICA地球広場会議室で開いて、2018年度の1年間の活動を締めくくり、現在の2019年度の活動計画について討議し、それぞれ承認を得た。

2018年度は財政上の理由から奨学金プログラムの縮小に入って2年目だった。カンボジアの大きな変化を見ながら財政と支援のバランスをやりくりする状況は続くだろう。総会ではこれを「ジリ貧」に墮するのではなく、2019年9月からの2020年度とその先を見越した活気ある活動をどう進めるかを話し合った。(写真: プレアンドウン高校奨学生、校長らと、2018年11月)。



◇2018-19年度の活動

奨学金 高校生奨学金の年額50ドルは維持しつつ、人数枠をピーク時(2016年度)の165人から150人にまで減らした。中途退学者が出て実数は144人だった。この実績の上に2019年度は140人になっている。

大学生奨学金も17年度の新入生を最後に新規募集は取りやめ、金額も100ドル減額して400ドルにして2年目。奨学生は3年生と4年生の各1人の2人だけ。2019年7月に最後の1人が卒業。2009年度に始まった大学生奨学金は11年間で11人を社会に送り出して終わる。教員養成所奨学生は今年度10人と最高になった。金額は年100ドル。2019年度にはプロモルプロム高校出の新しい1年生2人が加わり、定員枠は12人に。先生になって郷里の学校に戻るケースが多く、支援効果が目に見えやすい。カンボジア政府は教員養成制度の改革を計画中国といわれるが、この基本枠はこれからも維持したい(写真: 奨学金を受けとり受領証にサインする奨学生、同)。



教材・教科書 教科書支援は所期の目的をほぼ達成したとして、17年度から支援の重点を辞書や、副読本、一般教養書などに移している。18-19年度はこれを踏襲した。ノート、鉛筆、ボールペン、チョーク、先生用のパソコン用紙・インクなどの支援はプノンペンでの現地調達によって例年通りに継続した。支援者から多

数寄せられている各種学用品、カバン、衣類、サッカーボール、デジカメなどは、現地訪問のたびに航空便の制限いっぱい量を持ち込んで配っているが、まださばききれない。

ホームページ ホームページに「サッカー教室」の動画を初めて載せたのに続いて、現地での支援活動の動画を掲載。会報『カンボジア通信』のバックナンバーの掲載は完了した。

「サッカー教室」 カンボジアでの第7回「サッカー教室」は2017年12月23日から31日まで、例年通りに支援各学校と養護施設、体育教員養成学校などなど11カ所で開校した。

のフン、さらに缶ジュースのへたなどが沢山あり、サッカーをするには程遠い環境だったが、相当キレイになっていました。

チョーティアル中学の校庭は様変わり。入口の周辺の池など埋め立てられグラウンドは広がっていました。そこに立派なサッカーゴールが立てられていました（右の写真）。



生徒と真剣に英会話

石山真之介君は、訪問先の各高校の英語のクラスに入れてもらい、20分ほど流暢な英語で自分のことを話した後、生徒たちの英会話の相手を務めました。生徒から数多くの質問が出ました。

なぜ英語がうまいのか？

彼はフィリピンに滞在した2年間は全く英語が出来ず、友達も作れなかったが、ワシントン郊外の高校に転校してから2年間、徹底して勉強したと。生徒達は真剣な眼差しで何か心に刻んでいたように見えたのが印象的でした（左の写真：右側が真之介君。コンポントウライ高校で）。



横網白鵬、鶴竜、稀勢の里、大関栃ノ心、その他の関取の写真も見てもらいました。クラスの生徒はじめ校長、教頭、担任教師のほぼ全員がTVで知っていました。但し稀勢の里を除いてモンゴルとジョージア出身とまでは知られていませんでした。カンボジアの力士は今現在、大相撲界にはいません（我輩は大栄翔関後援会メンバー）。将来カンボジア出身の力士が活躍している姿を見たいものだ。ちなみに3年前、お寿司のパンフレットを見てもらいましたが、低学年だったこともありほぼ全員、食べたことも、また見たことも無いとのことでした。

続々と大型モール

真新しくなった空港近くのイオンのモールのそばに2つばかり大型モールが又出来るとか！そのイオンのモールの屋上には桜の花が満開に咲かされ、若者のツーショットのデートスポットになっていました。桜の花は巧妙に出来たニセモノでした。

今回のカンボジアでの車の走行距離は総計446キロでした。ちなみに、スヴァイリエン、プレイヴェン両州に亘る走行距離は326キロでした。

国道1号線のメコン川に架かる翼橋（日本が建設）は3年前には建設中でしたが完成、今はとても快適でアツという間にメコン川を渡り、ネルーンの我輩達が泊まるホテルに到着しました、翌日早朝、はしけ（今まではメコン川をフェリーで）を見てきました、今も利用していましたが、更に立派なはしけ！なる物を建設中で、夜はライトアップもできる様な工事もしていました。又、ホテルの傍の国道1号線は約1メートルほじくり土の入れ替え、インフラ工事中でした。

大雨で道路寸断

乾季（11月から）に入ったとはいえKEAF支援校の一つ、プレイトープ中・小学校は10日前の大雨で途中の道路が泥沼で前に進めず、訪問はギブアップ（右の写真）。空港周辺は近代化が進んでいるのは体で感じましたが、我輩が泊まっている宿の近辺もインフラ工事が進んでいるものの、少し入った市場街は3年前と同じに感じました。

1号線を挟んだ裏町街はまだ薄暗い早朝の事もあり、大きな牛が道端にゴロゴロ寝ていたり、犬に吠えられたり。その犬が後を付いてきたりしたので怖くなり引き返してきました。



ありがとうございました (2018年9月01日～2018年11月15日)

年会費、寄付金、奨学金をお振込頂きました方々に心からお礼申し上げます

(敬称略させていただきます)

(東京)	(神奈川)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)
(東京)	(東京)	(秋田)	(長野)	(東京)	(神奈川)	(東京)
(東京)	(東京)	(埼玉)	(神奈川)	(東京)	(東京)	(東京)
(熊本)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(神奈川)
(東京)	(東京)	(千葉)	(奈良)	(東京)	(東京)	(神奈川)
(東京)	(東京)	(神奈川)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)
(神奈川)	(東京)	(千葉)	(東京)	(東京)	(東京)	(神奈川)
(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)

※お名前は個人情報なので伏せて掲載しています。 ※写真つき奨学生紹介の4～7頁は個人情報保護のため省略

◇物品支援ありがとうございました

様(神奈川): 手提げかばん6、鉛筆(黒、カラーなど)99本、鉛筆削り・消しゴム・ホチキスなど、

スタティック・メモとマイタックラベル。

様(東京): トートバッグ4。

日本は何をすべきか

プノンペン訪問で感じたこと2つ
同行許してくれた皆さんに感謝

石山真之介

今回の11月のカンボジア遠征に同行させていただいた、石山真之介です。まず始めに、この機会を実現させるために手を貸して下さったたくさんの方々、私の祖母、叔母、両親、そしてKEAFの皆さんに改めて感謝をしたいと思います。

カンボジアに行って気づいたことは山程ありますが、大きなこととして二つ、プノンペンの市街で気づいたこと一つとネットーン(編集者注: プレイヴェンとスヴァイリエン両州)の学校を訪れて気づいたこと一つを書かせていただきます。

プノンペンの街を車の窓から眺めているとまず驚かされるのは車の多さです。しかし、よく見るとそのほとんどが日本製の車だということに気づきます。そして道路の両側に連なる数々のお店、これもよく見るとほとんどが中国企業の販売店だということに気づきます。上を見上げれば日本から送られてきた電灯、交通信号、カンボジアにはアジアの先進国からの影響が予想以上に大きいものなのだとなりました。

しかし他国からの影響は、この遠征の本題であるネットーン(編集者注: プレイヴェンとスヴァイリエン両州)の学校訪問でも感じるがありました。プレアンドウン高校の校長先生の話によると、カンボジアの国家試験で最高成績の「A」を獲得し



た生徒は皆、中国政府の全負担で中国に留学が出来るそうです。

優秀な生徒達を中国で学ばせることにより、将来のカンボジアを支えていく人材を中国育ちの社会人にしていく策は、中国が東南アジアの影響力を根こそぎ勝ち取ろうとしている事実とそれを実現可能とさせる資金力を見せています。

まだ18歳になったばかりの私にはわからないことは沢山ありますが、急成長を続ける中国経済をそのまま放っておくと東南アジアは中国の言うことを聞かざるを得なくなってしまうのではないかと思います。アメリカはこれに対して激しく反発していますが、果たして日本は見ていただけでいいのか。アメリカと中国の次にGDPが高い国として何かするべきだと私は思います。

(写真: 教室での英語の対話のあと女子生徒と交流する石山真之介君。プレアンドウン高校で)。